婦人と新社會

山田わか主筆

十月號

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
昭和三年九月二十三日印刷納本

愛讀者への御詫び
四谷婦人會設立の趣意
今後の事業
巡回家庭談話會
身の上相談所
二葉保育園保助
女中さんのための講演會
今後の希望と
會員への御願ひ
クーリッジの一人息子
活動寫眞
紹介狀

昭和三年十月一日發行　第百〇三號　毎月一回一日發行

東京市　婦人と新社會發行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛讀者への御詫び

本年の四月以來、四谷區長を始め四谷在住有志婦人が共力して婦人會を創立致し、發會式も無事に濟み二三の仕事も遂行し、そして、今後の仕事に付てもほゞ陣容がとゝのつた、今、幹部のひたすらなる希望は會員諸姉へ會報を造つて送ることで御座いました。

けれども、幹部の大部分は皆それ〴〵の關務を持つて居られる方達でありますから、とにかく、比較的暇に親しんで居ります私が其の會報に對して何となく責任を感じて居りました。

處が、私も、主人が病弱な體になつて以來は、殊に、何にかと忙しいものですから、フト、づるいことを考へてしまいました。即ち、會報を造ると同時に、その記事を本誌の愛讀者達にも讀んで頂かうと思ひついたのです。

創刊以來約十年の間拙い文章を御叱りもなく御後援御購讀下さいました皆樣は、――少々自惚れのようではありますが――私が熱心に參加して居る婦人會には幾分の興味を持つて頂けるかも知れないから、會報と同じものを御送りして見よう。そして、もし、私達のしてゐることに付て御批評が頂けたり、御注意を御受けすることが出來れば猶幸せだと考へたので御座います。

そんなわけで、この十月號は變なものになつてしまいましたが、まことに勝手なことを致しまして申わけ御座いませんが、事情を御推察の上失禮の段は幾重にも御許しの程を偏に御願ひ申上げます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

四谷區婦人會設立の趣意

皆様も御承知の通り從來女子は專ら家事のみを掌り、男子ばかりで社會各方面に活動してまゐりました。けれども、時代の趨勢は女子の社會的地位を大いに高めました。そして、內齊家育兒の道を講ずると共に外隣保共助の爲に女性の手に待つべき仕事が多くなつてまゐりました。併し斯かる仕事は一人の能く成し得るものでなく、多數團結することによつてのみ大なる効果を齎すもので御座います。それで社會一般も非常に其必要を感じてまいりまして諸種の形式で婦人團體を組織し活動するものが數多御座います。現に他の區でも既に婦人團體が設立せられ相當活動を續けて居られます。就ては四谷區に於ても婦人各位が時々一堂に會しお互に胸襟を開いてこれまでに研究せられた事を實地に又既になすつて居られます諸種の事を持ち寄つてそれを基礎とし、小は一個人の修養向上に資し、大は人類共榮の爲社會に貢獻したいと云ふ趣旨の下に左記會則に依り本區に婦人會を設立致しました。此の上ともなるべく多數の御贊成を得てより堅實なる婦人團體たらしめたいと願ふて居ります。何卒皆様の御力添への程を御願ひ致します。

昭和三年五月　日

四谷區婦人會長　杉田安靜

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四谷區婦人會會則

第一章　總　則

第一條　本會ハ四谷區婦人會ト稱ス

第二條　本會ノ事務所ハ當分四谷區役所内ニ置ク

第三條　本會ハ戊申詔書ノ御趣旨ヲ奉體シ勤儉ノ實ヲ擧クルト共ニ家庭並ニ社會生活ノ向上體育ノ增進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第四條　本會ノ事業概ネ左ノ如シ

一、婦人ノ修養ニ關スル諸種ノ講演會、講習會及會員ノ談話會等ノ開催

二、風俗ノ匡勵及勤儉節約ニ關スル宣傳並之カ實行

三、諸種ノ社會事業及之カ奬勵並援助

四、其ノ他本會ノ目的ヲ達スルニ必要ト認ムル事業

第二章　會　員

第五條　本會ノ趣旨目的ヲ賛成スル婦人ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得

第六條　會員ハ會費一口以上ヲ負擔スルモノトス

會費ハ一口金拾錢トシ毎月納付スルコト但シ一時ニ數ケ月分ヲ前納スルヲ妨ケス

第七條　會員ヲ普通會員、維持會員及名譽會員ノ三種トス

普通會員ハ毎月一口以上會費ヲ納ムル者

維持會員ハ毎月十口以上會費ヲ納ムル者

名譽會員ハ本會ノ爲メ功勞アリタル者但シ評議員會ノ議決ヲ得テ會長之ヲ推薦ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第三章　役　員

第八條　本會ノ會務ヲ處理スル爲左ノ役員ヲ置ク

會　長　　一　名
副會長　　二　名
幹　事　　百　名
（内二十名ヲ常務幹事トス）
評議員　　百五十名

以上役員ノ外顧問ヲ置クコトヲ得

第九條　會長ハ四谷區長トス
會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

第十條　副會長ハ會員ノ互選トス
副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキ其職務ヲ代理ス

第十一條　幹事ハ其ノ半數ハ總會ニ於テ選擧シ他ノ半數ハ會長之ヲ推薦ス
幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ會務ヲ處理ス

第十二條　評議員ハ其ノ半數ヲ總會ニ於テ選擧シ他ノ半數ハ會長之ヲ推薦ス
評議員ハ總會ニ於テ議決シタル事項ノ執行方法及會長ヨリ附議セラレタル事項ヲ審議ス

第十三條　副會長、幹事、評議員ノ任期ハ各二年トシ再任ヲ妨ケス但シ補缺ニ依ル場合ハ前任者ノ殘任期間トス

第十四條　顧問ハ重要事項ニ付會長ノ諮問ニ應ス

第十五條　會長ニ於テ必要アリト認メタルトキハ書記ヲ置ク事ヲ得

第四章　會　議

第十六條　總會ハ毎年一回之ヲ開ク但シ會長ニ於テ特ニ必要ト認ムルトキ又ハ會員五分ノ一以上ノ請求アリタルトキハ臨時之ヲ開ク

第十七條　定期總會ニ附議スヘキ事項概ネ左ノ如シ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、前年度中ニ於ケル本會ノ事業成績、庶務
及會計ノ報告
二、役員ノ選擧
三、會則ノ改正
四、其ノ他會長ニ於テ必要ト認ムル事項

第十八條　評議員會ニ附議スヘキ事項概ネ左ノ如シ
一、財產ノ管理並處分ニ關スル事項
二、豫算並決算ニ關スル事項
三、重要事業ニ關スル事項
四、其ノ他會長ニ於テ必要ト認ムル事項

第十九條　會長ハ會議ノ議長トナリ議事ヲ整理ス
議事ハ出席會員ノ多數決ニ依ル

第五章　會計

第二十條　本會ノ會計年度ハ每年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第二十一條　本會ノ經費ハ會費其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ル事

第二十二條　每年度ノ決算ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ收入ニ編入スヘシ

草間判二

思ふ樣戶を開けて夏の夜の村
戶每〳〵の樂しきまどひ
月光に輝く村の夜を行きて
覗くともなき友の家々
臺所に溢れて賑ふ隣り家に
兒なき夫婦の茶を汲むがあり
飛行機の魔の如く飛ぶ郡の空

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

四谷區婦人會創立總會

一、開會　昭和三年六月廿四日午後一時三十分

一、出席會員　四百五十五名

一、來賓　東京府知事代理水澤則彥氏、東京市長代理佐藤傳四郎氏、本區名譽職赤尾藤吉郎氏、瀨川光行氏、山田保氏、東京聯合婦人會委員長吉岡彌生氏、金成龜次郎氏（四谷高小校長）、山手信用購買組合長吉原一郎氏代理脊戸榮吉氏　以上祝辭

其他來賓二十二名

一、當日司會者　竹內茂代女史

一、開會之辭　竹內茂代女史、會則を一括して議題とし滿場一致可決

一、會則第九條により四谷區長杉田安靜氏會長席に就き挨拶を述ぶ

一、會長は副會長選擧及役員指名すべき順序なるも副會長選擧は後廻しとし役員指名は追て通知することを諮り滿場一致可決

一、左の順序にて祝辭を受くることに決定し（前記來賓順に依る）終りて

一、會員總代山田わかの答辭ありて來賓に茶菓を供する間に副會長選擧に入る

一、副會長選擧立會人　泉川美榮氏、金子茂氏川村たか子氏

一、選擧開票の結果

竹內茂代	三二〇	山田わか	二九七
山下つや	二六	瀨川さわ子	八
山田きく	五	德永恕子	二
大和俊子	二	大岩とよ	二
井出夫人	二	森本夫人	一

一、右の結果竹內茂代　山田わか副會長に當選

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一 餘興

教育講談　三浦樂堂氏

童　　謠
童謠舞踊 ｝四谷區南町一行院

兒　童　劇
ハーモニカ伴奏 ｝八百谷順應氏一行

一 閉會　午後六時

當日來賓及一般會員におみやげを差し上げました。

一 創立委員有島速子氏より來賓及會員一般に左の御寄贈がありました。

一、カルミン　五二八個

一、キャラメル　六〇〇個

一、ソフト　七〇個

一 神戸市京町八三ネツスル及アングロスヰス煉乳會社はミルクフードを寄贈された。

一 生活改善同盟會は同會發行の書物を販賣しました。

四谷區婦人會創立委員會解散

四谷區長の召集に應じて創立委員達が區役所樓上に集合すること十回、かくして、創立總會も賑々しく目出度すんだ後の六月二十九日午後六時半、區役所樓上に最後の創立委員會を開かれ、次の『婦人會創立費寄附者名』の發表、『收支決算』の報告があり、續いて、會員からの第一回の會費は各募集委員が集金すること、創立費寄附金の殘餘及び將來の寄附金は本會の基本金に繰入れることを決議し、これをもつて創立委員會は解散しました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四谷區婦人會創立費寄附者名（受付順）

金額	氏名
三、〇〇	田中 とめ殿
一〇、〇〇	鈴木 まさ殿
五、〇〇	松本 ひさ殿
二五、〇〇	瀬川 さわ殿
二五、〇〇	竹内 茂代殿
五、〇〇	太田 みち殿
五、〇〇	平岡 靜香殿
一〇、〇〇	前橋 龍子殿
五、〇〇	諸岡 壽子殿
一〇、〇〇	松平 充子殿
五、〇〇	原田 いし子殿
三、〇〇	岩崎 たみ殿
三、〇〇	藤森 やす殿
三、〇〇	藤澤 鈴子殿

金額	氏名
二、〇〇	大森 いく殿
三、〇〇	神田 なを殿
三、〇〇	仁神 ふく殿
三、〇〇	間川 とし子殿
二、〇〇	原口 英子殿
一、〇〇	石川 とみ子殿
三、〇〇	大久保 さた殿
一、〇〇	長崎 きく殿
二、〇〇	高田 貞殿
一、〇〇	林 ユツ殿
一、〇〇	櫻井 つれ殿
三、〇〇	中原 朝尾殿
三、〇〇	内田 こと殿
二、〇〇	清水 小春殿

金額	氏名
二、〇〇	渡邊 ます殿
二、〇〇	岩崎 きう殿
一、〇〇	村松 ちか殿
三、〇〇	居藤 よし子殿
二、〇〇	齋藤 さと殿
一、〇〇	橋本 かつ殿
一、〇〇	山崎 貞子殿
一、〇〇	池田 美知殿
一、〇〇	高岡 かれ殿
一、〇〇	根岸 桃代殿
一、〇〇	石川 千賀殿
二、〇〇	内野 光殿
二、〇〇	村橋 じゆう殿
一、〇〇	戸部 美壽殿

金額	氏名
二、〇〇	小原 つる殿
二、〇〇	荒川 文子殿
五、〇〇	橋本 かつ殿
三〇、〇〇	武 たい子殿
五、〇〇	根岸 梅殿
三、〇〇	寛 けん殿
三、〇〇	吉村 殿
三、〇〇	石谷 すて殿
五、〇〇	第四小學職員
三、〇〇	田中 芳枝殿
三、〇〇	野崎 トヨ殿
五、〇〇	山田 わか殿
五、〇〇	大和 俊子殿
五、〇〇	向井 英子殿

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金額	氏名
三、〇〇	山田きく殿
一〇、〇〇	大築初枝殿
五、〇〇	小石むら殿
五、〇〇	長崎はな殿
五、〇〇	日原佐喜枝殿
三、〇〇	犬養璺殿
三、〇〇	高橋チカ殿
三、〇〇	奥平ミネ殿
二、〇〇	富田清子殿
二、〇〇	川田よれ殿
五、〇〇	中野よれ子殿
五、〇〇	萩原ふき殿
三、〇〇	坂田ます子殿
一〇、〇〇	川添レン子殿
三、〇〇	小俣方カメノ殿
五、〇〇	山本ソヨ殿
一〇、〇〇	細田りゝ子殿

金額	氏名
五、〇〇	地代むめの殿
五、〇〇	鈴木テイ殿
五、〇〇	山下つや殿
五、〇〇	伊藤くわ殿
五、〇〇	有吉黄揚殿
五、〇〇	逸見よし殿
三、〇〇	倉茂みや殿
五、〇〇	鹽田房子殿
五、〇〇	渡邊なか殿
五、〇〇	大澤清子殿
一五、〇〇	伊藤平藏殿
二〇、〇〇	後野富子殿
一、〇〇	和田氏殿
三、〇〇	赤尾つる殿
三、〇〇	松本蝶子殿
三、〇〇	照井粂殿
三、〇〇	岩原スヱ殿

金額	氏名
一〇、〇〇	非田きん子殿
五、〇〇	市川イシ殿
五、〇〇	佐々倉八重子殿
五、〇〇	齋藤トキ殿
一〇、〇〇	有島速子殿
五、〇〇	高橋八重代殿
五、〇〇	杉山茂子殿
三、〇〇	大倉靜子殿
五、〇〇	常川美代子殿
一〇、〇〇	水川麗子殿
五、〇〇	長岡福子殿
五、〇〇	梅田しつか殿
三、〇〇	小黒きわ殿
三、〇〇	關口モト殿
二、〇〇	神谷よれ殿
五、〇〇	野崎綾子殿
一〇、〇〇	相澤かく殿

金額	氏名
一〇、〇〇	相澤なか殿
一〇、〇〇	相澤ヤス殿
三、〇〇	伊東おさ殿
三、〇〇	矢崎つる殿
三、〇〇	西野靜子殿
三、〇〇	莊司靜子殿
五、〇〇	吉海さた殿
五、〇〇	岡蕃殿
五、〇〇	太田はる殿
五、〇〇	鈴木せい殿
五、〇〇	長谷みち殿
五〇、〇〇	萩原乙津殿
一〇、〇〇	岡梅尾殿
五、〇〇	小林ふさよ殿
寄附總額	六四五、〇〇
同人員	一二一人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四谷區婦人會創立費寄附金
收支報告書

一、收　入

一、寄附金總計　六四五、〇〇圓

一、支　出

一、支出金總計　四二五、六二

一、殘　額　二一九、三八

一、支出內譯

一、會則印刷費　一二、〇〇〇枚　三〇、〇〇

一、封筒作製　三、〇〇〇枚　三、六〇

一、通信費　二錢切手五五〇枚　一一、〇〇

一、委員及來賓用記章　一一、三四

一、來賓接待用菓子果物　五〇人前　一五、〇〇

一、紀念品　五〇〇個　一四〇、〇〇

一、發會式通知狀及來賓案內狀(印刷費共)

　往復ハガキ　二、〇〇〇枚
　ハガキ　一五〇枚
　封　筒　一五〇枚
　　七六、六五

一、給仕及人夫傭上料　二四、三〇

一、取扱者心付　六七、〇〇

一、雜　費　一六、七三

一、餘興謝禮　三〇、〇〇

計　四二五、六二

幹事會

一、開會　昭和三年七月十九日午後八時

一、會長杉田安靜氏、副會長竹內茂代、山田わか女史列席

一、出席幹事　廿五名

幹　事　會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

決定事項

一、常任幹事選定の件

選定方法を會議に諮り滿場一致會長指名に決定。

會長は十八名(役員名簿にあり)指名

一、疫痢豫防に關する件

四谷警察より申出に付會長に諮り本會の承認を得て緊急に施行したき希望。但し婦人會は後援することとし、宣傳びらを作製して戸每に配付すること。配付は人夫を使用(副會長竹内茂代氏説明)

右滿場一致の贊成にて後援することに決定。

附記

疫痢豫防のお話はかくして、四谷婦人會、及び區役所、各町會の後援のもとに四谷第一小學校、第二小學校、第四小學校、第五小學校の四ケ所に於て七月二十三日、二十五日、二十六日二十七日の四日に渡り開催されました。

續いて常任幹事會開會。

一、開會　午後九時

一、會長杉田安靜氏、副會長竹内茂代、山田わか女史列席

決定事項

一、東京聯合婦人會に加盟の件

副會長竹内茂代氏説明

東京聯合婦人會は現在東京にある婦人團體四十四の内宮殿下を總裁に頂くものを除きて三十四團體あつて各千名以上の會員より成るものは本聯合婦人會に加盟の資格あるものにして同會より四谷婦人會加入の交渉ありたるに付本件を提案せり。加盟者は一年五圓を義務負擔とし、加盟の會より二名の委員を代表として同委員會に出席すること、日割は每月火曜日午後六時三十分委員の内一名は固定のも

のにして一名は常任幹事順次に申送りて交替に出席すること。
一、右に付會長は加盟すべきや否やを諮り滿場一致加盟することに決定。
二、代表委員二名の選定の件
固定委員は副會長山田わか氏、一名は常任幹事交替にすることに決定。

會場は牛込區宮比町吉岡彌生氏宅
三、常任幹事定例集會決定の件
毎月第二水曜日午後七時とし、臨時集會は隨時に開くことに決定。
四、常任幹事中會計常務決定の件
互選の結果、大和俊子氏當選。

常任幹事會

一、開會　昭和三年七月三十日午後八時十五分
一、副會長竹內茂代氏、山田わか列席
一、會長事故の爲竹內茂代氏代理
一、伊藤課長就任の挨拶
一、出席幹事　十名
一、報　告
東京聯合婦人會委員會へ去る二十九日出席の市川いし子氏（山田固定委員事故のため市川常任幹事代理出席）山下つや氏より
一、御大典記念に關し聯合婦人會は一般に對し記念徽章を一個五錢にて賣りて利益一錢六厘は引受けたる會の所得となり四厘は聯合婦人會の所得となること。
一、決定事項

一、本會本年度事業計畫は左記より適當なるものを選むこと。

一、婦人會事務所に於ては日記を記し書類其他を記錄すること。

一、慈善券發行、市內の病院と聯絡を取ること。以上竹內茂代氏提案

一、講演會、談話會を度々開催して區婦人の頭の改造を計ること。以上山田わか氏提案

一、月に一回區內の小學校を借り受け四五ヶ所にて講演會を開く事。其の目的は會員相互の親睦を計る一方主婦に必要なる智識をさづける事

一、講演者は會員中の有志に御願ひし入費をはぶきて永久に此の催しを續ける事に努力致し度事

一、私の望む所は現代の婦人に必要なる婦人問題を山田わか先生に、衛生體育育兒の問題を竹內茂代先生に、幼兒の教育に就ては山下つや子氏に、榮養食の問題を一戶伊勢子氏に、美容については千葉ます子氏に御願する事。又時折々には洗濯、料理、洋服裁縫、あみものなどの家庭の主婦に必要なる講習會を開催する。

一、區政を研究の目的にて區會の傍聽を許可される事。

一、町會と連絡を取り婦人會も町會の仕事に就ては手傳をなすと同時に婦人會より提議なす事有りし時は諒解を求むべく交渉なす事

一、授產場設置、將來婦人會として適當の施設をなすも差當り「バラック」にても谷町方面に設置し二葉保育園內母の會と連絡を取ること。

一、婦人會々報發行　以上大和俊子氏提案

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、四谷見付公園に電燈設置。電燈設置の費用及月々の料金額の説明あり。(相當費用を要するに依り東京市に交渉し毎月の電燈料位は本會に於て負擔するも可ならん。本件は一應市に交渉することを伊藤課長回答)

一、本會施設として託兒所を設置するか又は二葉保育園に補助をすること。

以上山下つや子氏提案

一、各町に婦人會支部を設置し町會と提携して本區の公益に盡力すること。

一、勤儉奬勵の實を擧ぐるに付適當の施設を講ずること。

一、九月一日を記念して愛國貯金を奬勵すること。

一、國產品の愛用を奬勵するに付適當なる施設をすること。

以上山田きく子氏提案

事業計劃

以上を取捨選擇して豫算を作製すること。

來る六日午後七時、評議員會を開くこと。

一、散會九時四十分

評議員會

一、開會　昭和三年八月六日午後七時三十分

一、會長杉田安靜氏、副會長竹内茂代氏、同山田わか氏、伊藤課長諸氏列席、幹事評議員二十九名出席

錄事

一、昭和三年度婦人會豫算の件を議題とす。

昭和三年度四谷區婦人會收支豫算

（收入の部）

科目	豫算額
一、基本金ヨリ生スル收入	六・一二
利子收入	六・一二
二、其ノ他利子收入	九八・六一
會費ヨリ生スル利子收入	九八・六一
三、會費收入	三、三四七・〇〇
會費	三、三四七・〇〇
合計	三、四五一・七三

（支出の部）

科目	豫算額
一、會議費	三七五・四九
一、總會費	二七四・五〇
二、評議員會費	三一・六四
三、幹事會費	四二・一四
四、常任幹事會費	三四・七一
二、事業費	一、二一八・〇〇
一、講演會費	三四〇・〇〇
二、講習會費	四六八・〇〇
三、繼續事業費	一五〇・〇〇
四、社會事業費	三〇〇・〇〇
三、給與	七二七・〇〇
諸給與	七二七・〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四、雜支出	六九五・〇〇
諸費	六九五・〇〇
五、豫備費	三九六・二四
豫備費	三九六・二四
合計	三、四五一・七三

右豫算は大體に於て之を認め、實行に就ては常任幹事に於て適當なる方法を講ずることにて承認することに決定。

續いて左の意見ありたり。

一、會員の吉凶は副會長又は幹事より祝詞又は弔詞を述ぶること。

一、四谷見附公園に電燈設備は大贊成なること。食料品の商店其他衛生に關しては警視廳と提携して衛生思想を普及せしめること

右は多額の費用を要するを以て他日に讓ることに決定。

一、各町に支部を設置する件

一、各町に支部を置き本部の事業を助けるは會員を地理的に見ても増員する便宜もあれば設置したし。（山田きく子氏）

一、婦人會設立早々なれば尙期間を置きて設置すること。（莊司氏）

一、各町に一支部を置くは理想とする所なれ共今は五ヶ所位に分ちて設置すること。（大和氏）

一、各町に一支部を置き責任を持ちて本部の仕事を部分的に助ける意にて設置。（竹內氏）

一、支部設置贊成。（金子氏）

決定

設置は大體贊成なるも實行は尙研究の上にて行ふこと凡て常任幹事にて決定すること

一、九月一日記念講演會を開くこと。（山田わか氏）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、家庭講演會と名稱を附し愛國貯金は講演中にすゝめること。（提案者）

一、講演會に於て貯金を奬勵するは結構なるも婦人に貯金することのみ力說するは弊害あれば講演會は講演會とし貯金奬勵は附帶位にて會を開くこと。（金子氏）

一、閉會九時三十分。

九月一日の記念講演會

八月六日の評議員會の決議に基き、その具體的事項を決定するため、八月十日會長、副會長、常任幹事の諸氏が區役所樓上に集合、記念講演會は『講演と映畫』の會と決定、活動寫眞の試寫をして散會、八月二十八日には山田わか宅に再び集合、凡ての打合せをしました。

一、第一小學校の暗室裝置は武幹事の好意により天幕及黑布を借入れたるも尙不充分なる爲め三名の人夫を傭ひ屋根及横窓を席にて被ひ漸く不充分ながら暗室裝置を終り、八月三十一日午後八時及び九月一日午前中大和、向井兩幹事監督せられました。

講演　九月一日午後一時三十分開會。

講師　山田きく子女史。本野久子女史。竹內茂代女史。山田わか女史。

映畫　母の心。我等の日本。震災實寫。

說明者。細谷章氏。

入場者　百五十名。

一、第五小學校の暗室裝置は本會書記と第五小學校の小使とにて之れをなし、雨天體操場の

外面を蓆にて包み內側は幕二枚を張り其中へ蓆を夾みて漸く暗室の裝置をなし、德永、赤尾、梅田その他の幹事立會。

講演　九月一日午後二時開會。

講師　塚本はま子女史。竹內茂代女史。山田きく子女史。

映畫　父母として。震災實寫。赤ちやんのお願ひ。

　　說明者　花村政雄氏

入場者　七十名。

三、第二小學校は午後七時開會。

講師　守屋東女史。山田きく子女史。竹內茂代女史。

映畫及說明者第五小學校と同樣。

入場者　三百名。

費　用

一、會員通知書	二十八圓七十五錢
一、映畫代	三十四圓
一、會場設備	九圓
一、ビラ配付人夫料	二十二圓五十錢
一、其の他	三十二圓九十五錢
一、ポスターは牛込區赤城元町文敎書院より寄贈。	
合　計	百二十七圓二十錢

附　記

活動寫眞は竹內茂代女史の御盡力により費用が普通額の約三分の一にて濟み、且つ第一小學校の分は女史の御令弟が機械御持參にて映寫せられました。

九月十二日現在會計報告

一、總收入　會費	一、一三〇・三〇
一、總支出	三三八・九八
一、差引殘高	七九一・三二
內　銀行預金	七三一・八〇
現在有高	五九・五二
外ニ基本金（銀行へ預入）	二二三・三八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今後の事業

婦人會の事業として幹部の希望が澤山あることは常任幹事會及び評議員會の錄事にある通りですが、差し當りの事業として「巡回家庭談話會」「身の上相談所設置」「二葉保育園補助」「女中のための講演會」開催を選みました。

巡回家庭談話會

九月一日の記念講演會にかんがみても明らかである通り、全區を對照として講演會を開催するには、ビラだのポスターだの又は立看板だのと、費用と手數が莫大である割り合ひに多數の人をあつめることが困難です。

そこで、婦人會幹部協議の結果、毎月二回づゝ、水曜日の晩を選んで、各町の幹事が中心となり、その周圍の婦人達を誘ひあつめて、講演會と云ふよりはむしろ談話會と云ふより親しみある會合をしようと云ふことになりました。そして、お話ばかりではあつまる人達のために興味が薄からうと云ふ心配から、あまり長くない活動寫眞を映そうと云ふことになりました。

その第一回は十月三日（水曜日）午後七時から坂町に於て常任幹事山田きく子氏が中心となり開催する豫定であり、第二回目は右京町と大番

町が合併し、大業初枝氏、大澤清子氏が中心で開會することに決定致しました。第三回目は恐らく新宿方面になるであらうと考へてゐます。そして、講師と云ふよりはむしろ話題提供者は其の會の中心となつて居られる幹事の要求に應じて幹部から誰でも出席すると云ふことになつてゐます。

こうして、あまり費用をかけずに、少數づゝの婦人達との知識の交換やら意志の疏通やら從つて親睦を計り、全區婦人の意志の一致を目的として進むことに致しました。

身の上相談所

聊かなりとも區の幸福のために資する處あらうとして、區長を始め四谷在住有志婦人の意志の結晶の結果生れた婦人會は、區内の悩みを持つ人達に對して、無關心で居ることは出來ません。そこで、身の上相談所を設置することに致しました。

事務所を當分のうちやはり區役所内に置き、何事に拘らず相談に來られた方は係り員が問題によりて其れ〴〵の擔任者へ振り向けて下さいます。

擔任者氏名（いろは順）

妊娠産婦に附ての相談	市川いし子
齒の衞生に附ての相談	向井英子
病氣及び不良兒に就ての相談	竹内茂代
救護に附ての相談	德永恕子
教育に附ての相談	大業初枝

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

職業に附ての相談　火和俊子
法律に附ての相談　山田きく子
幼兒に附ての相談　山下つや子
結婚及び離婚に附ての相談　山田わか

　便宜のためには擔任者を以上の人々としてはありますが、外の幹事評議員の方達も必要に應じては相互の幸福のために御手傳ひすることゝ存じます。幹事評議員の方達ばかりでなく、追つては會員全部が會員全部のために心をかける、そして、相互の幸福を計ると云ふ氣分になるようにに、巡回家庭談話會は努力致します。

　かくして、區の母であり姉である心持ちを働かせたいと云ふのが此の身の上相談所の設置となつたのです。

二葉保育園補助の件

　世の中が進歩すればする程、落伍者、貧乏人、罪人の數は多くなる。それは文明の進歩の代價であると或る學者は申ますが、その原因は何であれ、さう云ふ被保護者が現在の社會に存在する限り、その救濟法を講じなければならないと云ふことは自明の理であり、そして、それは社會全體の責任でなければなりません。

　されば、四谷婦人會創立當時に於て、竹内茂代氏は、區內に存在する唯一の救濟事業機關、「二葉保育園」に對する四谷區民の冷膽さを歎かれ、その後の幹事會に於て、山下つや子氏から此の保育園補助の案が出たわけです。

　そこで、四谷婦人會は近いうちに入場有料の大々的の催しものをして、その純益の全部を二

業保育園へ提供することに決議致しました。九月十九日には其のための委員會を開き、追つては評議員會にかけ、具體的のことを決定致します。その節は御後援の程を願ひ上げます。

女中さんのための講演會

大築初枝氏は或る機會に於て「女中の頭へ經濟觀念を鼓吹するように」と提案なさいました。たとへば、ガス、電氣、水の使ひ方をそれ〴〵の專門家を招聘して教へて貰ひたいと云ふお考へです。

そして、これも近いうちに實現したいと云ふ幹部の希望で御座いますから、いづれ開催の節には改めて御報告致します。その時には、女中さんばかりでなく、奥さんも、おかみさんも、娘さんも、御希望の方はふるつて御出席下さいませ。

今後の希望と會員への御願ひ

我が四谷婦人會が爲さねばならぬと痛切に感じてゐるものは澤山御座います。けれども何を致しますにも先き立つものは金で御座います。金より先きに必要なものは心であり、金をかけるよりも心をかけることがより必要であることは申すまでもありませんが、幸ひにして四谷婦

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人會には其の心は充分とまでは行かなくとも可なり鋭敏に働いて居ります。

ですから、此處に金さへあれば可なり有益な仕事が遂行されると信じるのですが、その金は一時的の寄附も結構ですが、それよりも猶有力なのは會員數の殖へることとで御座います。

發會式前の第一回會員募集は創立委員が各自在住の町内を受け持つて勸誘して歩いたのでした。幸ひに、多數の方の御理解と御同情を得て一氣に一千六百餘名の會員が出來ましたことは其の盛んなることと驚異に價ひします。

けれども、益々盛んなること、益々大なることを望むは人の人情です。幹部一同は第二回の會員募集に着手しようとして居りますが、會員諸姉の方々も何卒會員增加に御盡力下さいますよう御願ひ致します。かりにお一人がお一人づゝ御勸誘下さいますならば其れだけでも會員は倍加致し、婦人會活動の資金が倍加するわけで御座います。どうぞ、よろしく御願ひ申上げます。

四谷婦人會が爲さねばならぬと感じてゐる事柄は澤山あると、今申ましたが、その詳細を此處に列擧する煩はしさは避けて、進み行く目標だけを申ますなら、有形なことで云へば、四谷婦人會館を建設すること、無形なこと、卽ち精神的なもので云つて見るなら、婦人會の存在が風敎のために無くてならないものであると云ふことを社會に認めさせること、猶、云ひ直せば國防に軍隊が必要であり、法律上の罪人に警察が必要であると同じ意味で、道德上の罪惡に對しては婦人會が無くてならないものであると社會が確認するまでに婦人會の存在を確立し、有力なものにしたいと云ふ希望で御座います。

會員諸姉の御了解と御後援を切に御願ひ申上げます。

役員名簿

會長
杉田安靜　牛込區富久町六〇　電話四谷三〇四二

副會長
竹内茂代　四谷區三光町一　電話四谷一四六〇
山田わか　同南伊賀町四一　同三二二五（呼出）

常任幹事
向井英子　四谷區麹町一一ノ一三　電話四谷二五五八
有嶋速子　同東信濃町二七　同四一二五
野崎豊子　同西信濃町一一
大和俊子　同南伊賀町三四　同三二二五
千葉益子　同左門町五九　同五五一〇

山田きく子　同坂町一二九　電話四谷三一五三
大築初枝　同右京町一七　同二四三〇
川添レン子　同内藤町一　同三六三四
大澤清子　同大番町五三　同三〇一八
谷口安子　同永住町二　同四六〇二
市川いし子　同荒木町二七　同三七二五
山下つや子　同仲町二ノ一六
武妙子　同新宿一ノ一　同三九二六
梅田しづか　新宿三ノ二三
鈴木芳惠　同花園町三九　同二六三〇
赤尾つる　同番衆町三一　同二〇八一
徳永恕子　同旭町四　同五〇六七
服部みつ　同第二小學校内

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

クーリッジの一人息子

「米國大統領クーリッヂ氏の一人息子ジョン氏が本年マサチユセツ州のアーマスト大學を卒業し、いよ／＼今回ニユーヘヴン鐵道會社へ入社し、貨物係りの一員として働くことになり、かくして、最下級の從業員から漸次經歷を仕上げることになつた」と云ふ諸新聞所載の外國電報は實に愉快な報導です。

米國には私共が排斥しなければならない幾多の惡い風潮があるけれども、さすがは淸敎徒の精神、獨立不羈の氣魂がまだ殘つてゐて、それがジョン氏によつて現はされたことは「米國未だ老ひず」の氣に打たれます。

一體、それがアメリカ魂であるのです。米國の富豪中の富豪ヴアンダビルトは渡し舟の船頭で自ら棹をこひでゐたのであるし、米大陸橫斷の鐵道布設者なるスタンフオード、ホツプキン、フラツドなど、皆、一度は土工で、シヤベルをもつて働いてゐたのでした。その外、こう云ふ種類の立志傳中の人は米國には幾人もあります。

要するに、「下水の中から天をのぞむ」云ひかへれば最低の位置から最高にまで登つて行くと云ふのが米國の精神です。

米國式ヒーロー、ジョン氏の將來を祝福すると同時に、軟弱な我が富豪の息達、及び、米國の惡風をのみ眞似て其の精神を理解し得ず、ペカ／＼した服裝をして得意がつてゐるモダンボーイ達の反省を私は望んで止みません。

活動寫眞

印刷の術が文學に貢獻したと同じように、活動寫眞は劇に貢獻してゐます。活動寫眞は、劇の新らしいか

たちを世界の隅々までも普及しました。

そして、この活動寫眞は、子供達の頭腦に非常な感化力を持つてゐます。子供達は動物の話を聞かされゝば、すぐに、動物の聲や態度をまねるし、野蠻人の話をすれば、すぐ野蠻人の繪を書いて見ようとします。

それが子供の性質であるから、活動寫眞が子供の頭に深い影響を與へるのは無理がない。それは破壞的な行爲に對する誘惑を烈しくしたと同時に、建設的な行爲も奬勵します。寫眞のために多くの惡戯者が出來たと同時に、多くの頓智も與へられてゐる。で。スタンレー・ホール教授は申ます。

「活動寫眞は活字の發明以來の最大なる教訓的の工夫のものだ」と。又、ジョン・コリアは申ます「人間の生活に革命を起した印刷術の發明と、此の活動寫眞の發明とを比較して見ると面白い印刷術は知識と思想を全世界に普及したけれども、併し、其効果を擧げるには手間がかゝつた。なぜなら、人は先づ文字を覺へたゝけづゝしか知識と思想の普及は出來ない。それに反して、活動寫眞は電光のように早い。ものを覺へればならぬと云ふ準備などは必要でない。そして、一度に何千人何萬人の蒙を啓くことが出來る」と

紹介狀

秋だと云ふのに、燒けつくような夕日が二階の硝子障子をまつ赤に染めてゐました。私は夕飯前に原稿を出してしまはふと思つて机にしがみついてゐました。

區役所内婦人會事務所からの紹介狀を持つた若い婦人が私をたづねて來ました。紹介狀には「就職の件に付き御引見云々」と書いてありました。今の場合ひ一寸困ると思ひ、後に出直して來るように頼んで見ようと考へて私は玄關へ出て行つて、さう云つて見ました

若い美しい其の婦人は曇つた顏を一層曇らせて、行く處が無いと云ふ意味のことを哀願するように云ふのでした。驚いた私の問ひに答へて云ふ處を聞くと此の婦人は昨夜名古屋の勤家先きから家出して來たのでした。夫には妾が二人あつて其の二人ともが彼女の家庭に這入つて來てゐる。

一つの家根の下に渦卷いてゐる四角關係の惱ましさ

に耐へがたく、お風呂に行くと云つて家を出たまゝ上京し、差し當り交番へ行つて巡査に身の振り方を相談し、巡査は彼女を區役所へ送り、區役所から私の手へと送られて來たわけだつたのです。

私は、自分の仕事のことは一時忘れて彼女を招じ入れ、詳細な處を聞いたり、自分の考へを話したり、夕飯を一緒にとつたり、夕飯後も猶彼女と語り續けました。『私の惱みは私の氣まゝであるように實の親からも友人からも近所の人達からも云はれてゐましたが、こちらで仰有るようなお言葉は今度始めて伺ふのです。』と云つて彼女は自分の感情の正しさを裏書きされて喜んでゐました。

その夜は大和俊子氏に御相談して、同氏の婦人共同會の寄宿舍に彼女は預めて貰ふことにしました。そして、大和氏と談合の上、彼女の問題の解決法を定めて、それをも彼女に云ひきかせ、とにかく二三日遊んでゐるように私達は彼女にすゝめました。

處が一夜を寄宿舍に明かした彼女は朝私に朝の挨拶なしに來てから、一寸其のへんを歩いて來ますと出て行つたまゝとう／＼歸つて來なかつた、大和氏と私が夜遲くまで行つたり來たり『こちらへ歸つてゐませんか？』を繰り返へし／＼してゐましたが、夜が深く更けて行くまでも氣にかかつて仕方がなかつたのですが、とう／＼それぎり、彼女は私達に姿を見せません。

本誌定價表（臨時）

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

昭和三年九月廿三日印刷納本
昭和三年十月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉

東京市牛込區若松町五四
印刷人　大杉直次郎

東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會
振替東京五三六八八番